

2016年12月

第75号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

訪日客（インバウンド）4千万人への課題

10月31日国土交通省が、2016年に日本を訪れた外国人旅行者（インバウンド）が10月30日に暦年で初めて2,000万人を超えたと発表した。

13年に1,000万人を突破し、3年で倍増したことになる。観光客2,000万人超は世界16位・アジア5位に相当するが、14年の外国人観光客数No.1はフランスで8,370万人、次いで米国の7,475万人となっておりまだまだ大きな開きがある。

15年の訪日客は1,973万人であった。国別では中国499万人（前年比2倍強）、韓国400万人（同45%増）、台湾367万人（同30%増）、米国103万人（同16%増）などとなっている。

また、訪日客の旅行消費額は3.47兆円で半導体などの電子部品3.6兆円、自動車部品3.4兆円の輸出額に匹敵する規模となっている。

急速に訪日客が増加したのは、外国人向けの消費税免税制度の拡充、アジア諸国からの旅行者に対するビザ発行要件の緩和、円安などの他、アジア各国との格安航空会社（LCC）などの路線拡充やクルーズ船の寄港増が大きく追い風として働いたことなどが要因として挙げられる。

政府は16年3月策定の「明日の日本を支える観光ビジョン」で、観光が地方創生の切り札として、また、GDP600兆円達成への成長戦略の柱として位置づけ、20年訪日外国人客数4,000万人、同消費額8兆円、30年にはそれぞれ6,000万人、15兆円を目標に掲げた。

これまでは、アジア観光客中心で、中国や香港の旅行者が高額品を大量に購入する「爆買い」現象が注目を集めた。最近では大型クルーズ船（定員数千人規模）寄港が日本一の博多港では100台ほどの観光バスが港前で待機する光景が目撃される。しかし、最近の円高進行や中国経済減速予測などから百貨店・ドラッグストアなどの売上に陰りが見え始めている。また、「爆買い」ツアーの無資格ガイドが横行し「ぼったくりツアー」に対する批判も高まっている。

訪日客急増で訪日外国人の犯罪も増加している。殺人や窃盗犯は減少しているが詐欺などの知能犯、不法入国管理難民法違反、薬物事犯などが増加傾向となっている。

今後は、これらの改善を図りながら、絶対的に不足が見込まれる「宿泊施設の増設（民泊含む）」、外国人観光客のための「外国語案内板の設置」「通訳案内士の資格を持つガイドの養成・増加」「ITによる旅行案内の充実」、さらに、買い物だけでなく「日本の文化を楽しむ観光や滞在型・体験型の旅行の拡充」、東京・箱根・京都などの定番コースから「地方への観光客誘導」、「アジア以外からの旅行者誘致」や「リピーターの拡大を図る」などの課題が山積している。

心の生活習慣を変える

ニーチェの言葉

毎日の小さな習慣のくり返しが、慢性的な病気をつくる。
それと同じように、毎日の心の小さな習慣的なくり返しが、魂を病気にしたり、健康にしたりする。
たとえば、日に十回自分の周囲の人々に冷たい言葉を浴びせているならば、今日からは日に十回は周囲の人々を喜ばせるようにしようではないか。
そうすると、自分の魂が治療されるばかりではなく、周囲の人々の心も状況も、確実に好転していくのだ。

『曙光』

おじけづいたら負ける



ニーチェの言葉

「ああ、もう道はない」と思えば、打開への道があったとしても、急に見えなくなるものだ。
「危ないっ」と思えば、安全な場所はなくなる。
「これで終わりか」と思い込んだら、終わりの入口に足を差し入れることになる。
「どうしよう」と思えば、たちまちにしてベストな対処方法が見つからなくなる。
いずれにしても、おじけづいたら負ける、破滅する。
相手が強すぎるから、事態が今までになく困難だから、状況があまりにも悪すぎるから、逆転できる条件がそろわないから負けるのではない。
心が恐れを抱き、おじけづいたときに、自分から自然と破滅や敗北の道を選ぶようになってしまうのだ。

『たわむれ、たばかり、意趣ばらし』

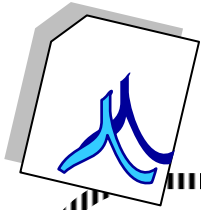
四つの徳を持つ



ニーチェの言葉

自分自身と友人に対しては、いつも誠実であれ。
敵に対しては勇気を持つ。
敗者に対しては、寛容さを持つ。
その他あらゆる場合については、常に礼儀を保て。

『曙光』



徳川 家康 (江戸幕府の初代征夷大將軍)

- 天文 11 年 12 月 26 日 (1542 年) 三河国岡崎 (現愛知県) で父は岡崎城主松平広忠、母は広忠の正室於大 (水野忠政の娘) の嫡男として生まれる。幼名は竹千代。3 歳の頃、広忠は於大と離縁。母と生き別れとなる。6 歳の頃、今川氏へ人質として送られるが、途中裏切りにより尾張の織田氏へ送られた。2 年後今川氏の人質となる。
- 永禄 5 年 (21 歳) 清洲城を訪れ、織田信長と同盟を結ぶ。永禄 6 年家康と改名。永禄 9 年徳川と改姓。
- 元亀 3 年 (31 歳) (1572 年) 二俣城の戦い、三方ヶ原の戦いで武田軍に敗れる。
- 天正 12 年 (1584 年) 小牧・長久手の戦い。羽柴秀吉と戦う。
- 天正 14 年 (45 歳) 大阪城にて豊臣秀吉の臣従となる。
- 慶長 5 年 (59 歳) (1600 年) 関ヶ原の戦い。
- 慶長 8 年 (62 歳) (1603 年) 天下統一。征夷大將軍宣下。
- 元和 2 年 4 月 17 日 (1616 年) 死去。享年 75 歳。

徳川家康が基礎を築いた江戸幕府は、17 世紀初めから 19 世紀後半に至るまで 264 年間の長期政権となり江戸時代を画した。

オススメの BOOK



『戦争まで』

作者 加藤 陽子 朝日出版社

著者は東京大学教授。

日本が太平洋戦争へ突入する前の国際連盟脱退や日独伊三国同盟の締結などめまぐるしく変わる国際情勢の中で、各国との交渉がそれぞれの国の国際認識の相違、国民感情を背景として自国に有利に導こうとする駆け引きが行われる。三国同盟もその駆け引きの一貫との見方は面白い。

国内においても陸軍・海軍・官僚の思惑が交錯し米国との交渉が妥結一步手前で突然予想外の事態が発生し頓挫、戦争への道へと進んでしまう。

膨大な資料を紐解き、これまで一般的に言われてきた陸軍暴走のイメージとはやや異なる趣が感じられる。一般国民の中の強硬派 (国粹主義者) の動きにも不気味なものがある。国家のリーダーのあり方や人命の尊重、平和主義について考えさせられる一冊である。

自動車保険の限定条件とは…

去年は、交通事故による死亡者が全国で4,117人でした。このような不慮の事故に備えるために自動車保険の任意保険制度がありますが、更新時に「高い」「なぜ事故を起こしていないのに保険料が上がるのか？」との疑問を持たれる方がいます。

なぜ、自動車保険が年々高くなるのでしょうか。少子高齢化と若者の車離れが主な要因になっています。

強制加入の自賠責保険の上乗せが任意保険ですが「自賠責に入っているのだから」とか「お金の無駄」と考えている方がいたら大変です。なぜなら、自賠責保険の補償には上限があるからです。

例えば相手にケガを負わせてしまった場合は最大で120万、死亡させてしまった場合は最大で3,000万円の補償です。実際には重傷となると治療、手術、休業損害、慰謝料等でかなりの金額になり死亡による賠償金額は億単位になる可能性もあります。差額を自費で払わなければならなくなり任意保険の重要性が分かります。

それでは、少しでも保険料を抑えるためにどのような方法があるかといいますと、



運転者を限定することや年齢などの条件を付けて加入することが考えられます。

□運転者の限定

保険の対象となる車の運転者を限定します。自動車保険では、契約の手続きを行う人を保険契約者、保険の対象となる車を主に運転する人を記名被保険者といいます。記名被保険者からみて運転する人を同居の親族までに限定した「家族限定」と、記名被保険者とその配偶者に限定する「本人・配偶者限定」などがあり、家族限定よりも本人・配偶者限定の方が割引率は高くなります。

家族限定を付けた場合、大学生などで別居している未婚の子も補償の対象となりますが、婚姻歴がある場合には対象外となってしまいますので注意が必要です。

□運転者の年齢条件

高い年齢条件になれば割引率は高くなります。但し、同一の年齢条件であっても記名被保険者の年齢により保険料が異なります。

子供が免許を取得した際や家族構成が変わった場合などはその都度条件を見直し、うっかり対象外の人が車を運転することのないように、車ごとに誰が補償の対象となっているか常に把握しておくことが大切です。



日本海冬の風物詩 波の花

【編集後記】

突然寒波が押し寄せてきた。

最近、米国では次期大統領選挙に当選したトランプ旋風が世界を驚かせ、お隣の韓国では朴槿恵大統領の側近のスキャンダルから発展した大統領弾劾の大嵐に揺れている。

我が国にとってはいずれも最も身近な国の出来事だけに目が離せない。トランプさんの言動には予想外のものが多く、しかも日本の政策を左右されかねないものが多い。

やっぱり、正月は穏やかな中で迎えたい。